

平成 28 年度 SPring-8 ユーザー協同体特別総会 議事録

日時：平成 29 年 1 月 9 日（月）12 時 20 分-13 時 10 分

場所：神戸芸術センター（兵庫県神戸市中央区熊内橋通 7-1-13）

1. SPRUC 会長挨拶

中川会長より、SPRUC 創設より 5 年が経ち、総じて順調に運営されている一方で、会員の研究会所属率が低いという問題もあり、広報活動を通して対策を講じ、ユーザーからの意見が届くよう努めている旨話があった。また、新しいサイエンスを切り開くために必要な環境を議論する場として、BL 高性能化検討作業部会を立ち上げたこと、および、これらの活動を通して SPRUC 活動が会員に浸透し活性化していく方針が示された。

2. JASRI 理事長挨拶

土肥理事長より、年頭の挨拶の後、来年度予算に関して運転時間 4500 時間程度提供できる予定の旨説明があった。また、文科省量子研究推進室からの 3 つの留意事項に関して、目標出版論文数、科学における本質的な課題に取り組むための新分野創成・長期課題の重要性、利用料収入等についての話があった。

3. 報告事項

・評議員選挙の報告

杉本幹事より、第 6 回評議員選挙の結果報告があった。投票総数は 611 票であり、学術機関、産業機関から 2 年任期で半数の 15 名が改選された旨報告があった。

・行事幹事報告

木村幹事より、SPring-8 シンポジウム 2016 が 8 月 29 日～30 日に関西学院大学にて開催され、参加数 331 名、うち懇親会参加者 132 名と盛大に行われた。詳細は SPring-8/SACLA 利用者情報誌に記載されているとの報告があった。また、SPring-8 シンポジウム 2017 は 2017 年 9 月 4 日-5 日に広島大学にて開催予定であることが示された。

・分野融合型研究グループの報告

ナノデバイス科学グループは、大野 PO のもと新分野創成課題として実施中であり、昨年からは始まった実用グループも高尾 PO のもと実施されているとのこと。今年から本格的に原子分子生命科学グループが始動する旨、杉本幹事より報告があった。

・利用幹事報告

坂田幹事より、平成 28 年度は各研究会によるワークショップ・会合がこれまでに 15 件あ

り、例年通り活発に執り行われている旨報告があった。また、杉本幹事より、会員の研究会への登録促進策として、ポスター掲示、SPring-8/SACLA 利用者情報誌掲載が行われたこと。利用委員会として、旅費支給の方針について、本来なら参加してもらえない人、新しくネットワークを作りたい人を対象としている旨報告があった。

・会計幹事報告

加藤幹事より、SPring-8 シンポジウム 2016 での決算報告と、今年度、全体として順調な執行状況であることが示された。

8. SPRUC ビームライン高性能化検討作業部会について

杉本幹事より、ビームライン高性能化作業部会の設立についての報告と研究会への依頼について報告があった。

- ・昨年 11 月に設立申請が SPRUC 評議委員会になされて審議・承認され、12 月 1 日に発足した。藤原明比古関西学院大学教授を責任者とした作業部会メンバーが決まり、第一回会合が 12 月 23 日に開催された。
- ・今後、各研究会へのアンケート実施を予定していて、回答への協力依頼があった。

9. JASRI 理事による施設報告

山川理事より、施設報告として、SPring-8 および SACLA の利用状況報告と JASRI の業務内容紹介があった。運転・利用状況としてはたいへん順調に進んでいる旨、報告があった。利用支援業務のうち、産業利用、タンパク試料測定に関する測定代行業務について触れられた。また、情報提供として研究成果発表状況のとりまとめをしており、年間論文 1000 件という目標は達成されていることが報告された。今後のスケジュールとして、4 月下旬に 2017B 利用課題募集要項公開が予定され、特に「新分野創成型利用」制度は先行して、2017 年 2 月上旬頃に募集要項が WEB 公開予定である旨紹介された。

10. 今後のスケジュールについて

杉本幹事より、今後のスケジュールとして、3 月に動向調査報告書とりまとめ、4 月中旬の平成 29 年度第 1 回評議員会、9 月の SPring-8 シンポジウム 2017 および SPRUC 総会が示された。

以上。